

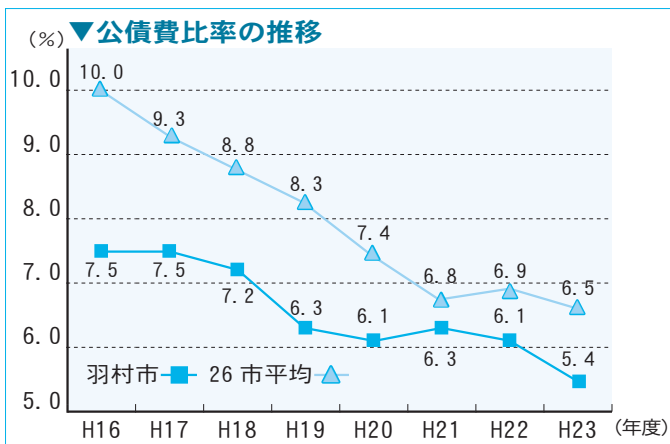
## 公債費比率

公債費比率は、標準財政規模に占める公債費充当一般財源の割合を表す比率で、財政の弾力性を示す指標の一つです。一般的には、10%を超えないことが望ましいとされています。

平成23年度は前年度に対して0.7ポイント減少し、5.4%となつていきます。多摩地区26市の平均は6.5%で、羽村市は低い方から8番目です。

## 財政力指数

財政力指数は、財政力を表す指標です。普通交付税の算定に伴って算出さ

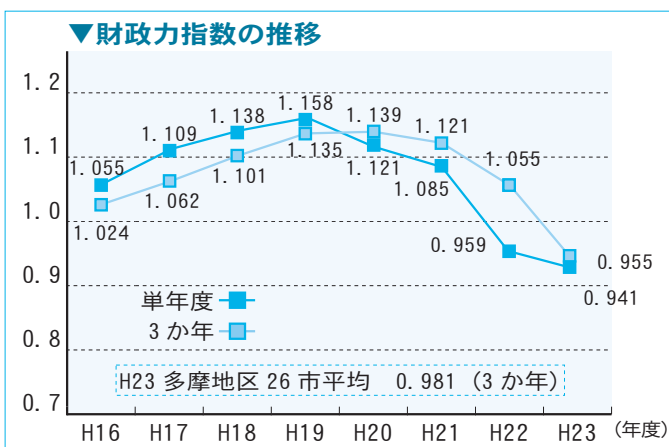


れる数値で、この数値が高いほど財政力があると言われ、1を超えるると普通交付税が交付されない不交付団体となります。

単年度の比較をすると、平成23年度は前年度に対して0.018ポイント減少し、0.941となつていきます。

他団体と財政力指数を比較する場合は、その年度を含めた過去3か年の平均値を用います。市の3か年の平均値は0.955です。多摩地区26市の平均は0.981で、羽村市は高い方から12番目です。なお、単年度では13番目となります。

## ▼財政力指数の推移



## 健全化判断比率および資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、平成19年度決算から市の財政状況を判断するために設けられた健全化判断比率および資金不

足比率を算定し、公表することが義務づけられました。平成23年度決算をもとに算定した比率は次のとおりです。いずれも早期健全化基準（イエローカード）を大きく下回る適正な水準となりました。

### ▼健全化判断比率

区分		平成23年度	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	一般会計等の実質赤字の比率	—	13.16%	20.00%
連結実質赤字比率	すべての会計の実質赤字の比率	—	18.16%	30.00%
実質公債費比率	公債費および公債費に準じた経費の比重を示す比率	4.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	地方債残高のほか、一般会計等が将来負担すべき実質的な負担を捉えた比率	—	350.0%	

※実質赤字比率・連結実質赤字比率については、赤字額がないため「—」となります。将来負担比率については、将来負担額がないため「—」となります。

### ▼資金不足比率

区分		平成23年度	経営健全化基準
下水道事業会計	公営企業ごとの資金不足の比率	—	20.0%
水道事業会計		—	20.0%

※資金不足額が生じないため「—」となります。

「決算から見た羽村市の財政状況」や「財務諸表から見た羽村市の財政分析」などをまとめた「財政白書」を発行しています。市役所1階市政情報コーナー、図書館、市ホームページなどでご覧ください。

## 平成 23 年度 水道事業の決算報告

総収益は、9億1,822万4千円で、水道料金の減収などにより、前年度と比べて3,065万2千円の減少となりました。

水道使用量は642万7,916m<sup>3</sup>で、前年度と比べて14万4,680m<sup>3</sup>減少しました。

総費用は、8億9,286万9千円で、企業債利息の減少などにより、前年度と比べて2,140万円減少し、結果として、純利益2,535万5千円の黒字決算となりました。

**建設改良工事などの状況**

配水管網の整備・管路の耐震化を進めるため、配水管の布設・管種替工事を実施し、施設の耐震性を確保するため、第1・2配水場ポンプ井耐震補強工事を実施しました。また、高利率の企業債を低利に借り換えるため、企業債の公的資金補償金免除繰上償還などを行いました。

### 財政状況

#### ▼収益的収支

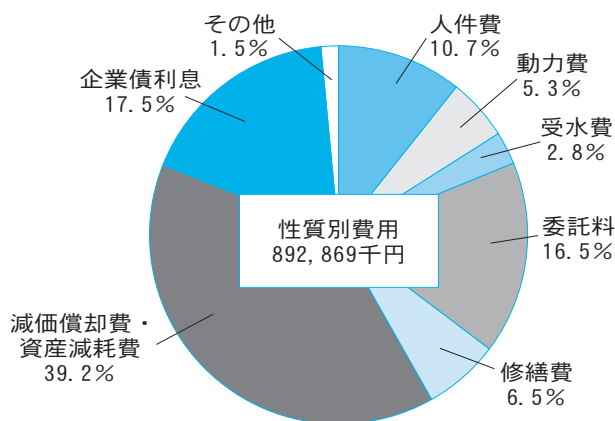
(税抜き、単位：千円)

水道事業収益	918,224
うち給水収益（水道料金収入）	855,070
水道事業費用（水道を供給するための費用）	892,869
差引き（純利益）	25,355

#### ▼性質別費用の状況

(税抜き、単位：千円)

項目	費用
人件費	職員給与など 95,585
動力費	水源から水をくみ上げたり、配水塔へ水を溜めたりするための電気代などの費用 47,707
受水費	東京都から臨時に水の供給を受けるための費用 24,835
委託料	水道料金徴収業務、休日・平日夜間における水源や配水場の監視業務委託などの費用 147,006
修繕費	施設、配水管などの修繕に係る費用 58,202
減価償却費・資産減耗費	固定資産価値減耗に係る費用 350,268
企業債利息	企業債（借金）の支払利息に係る費用 155,908
その他	13,358
合計（総費用）	892,869



#### ▼資本的収支

(税抜き、単位：千円)

資本的収入	25,886
負担金	1,286
企業債	24,600
資本的支出	457,630
建設改良費	115,425
企業債償還金（定期償還、繰上償還）	342,205
差引き	▲431,744

※不足分は、減債積立金、過年度および当年度の損益勘定留保資金（減価償却費などの留保資金）で補てんしました。

#### ▼貸借対照表

(税抜き、単位：千円)

資産	負債
固定資産（土地・建物・配水管など）	流動負債（未払金など）
7,392,024	52,667
流動資産（現金預金・未収金など）	資本
598,680	資本金
	（自己資本金）
	1,541,784
	（借入資本金）
	4,630,864
	合計
	6,172,648
	剰余金
	（資本剰余金）
	1,509,108
	（利益剰余金）
	256,281
	合計
	1,765,389
資産合計	負債・資本合計
7,990,704	7,990,704

問合せ  
水道事務所  
0554-2269